

記入例

農工商等連携事業計画に係る相談依頼表(事前評価表)

相談日 平成 21 年 4 月 1 日

支援機関名: ○△□×商工会

| | |
|-----|-----------------------------------|
| 事業名 | 酸味の強い○○品種による家庭調理用○○ピューレの開発、製造及び販売 |
|-----|-----------------------------------|

【事業の種類】 該当する種類の番号を記入してください。

| | |
|---|---|
| ③ | <ul style="list-style-type: none"> ①規格外や低未利用品の有効活用 ②生産履歴の明確化や減農薬栽培等による付加価値向上 ③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大 ④新規用途開拓による地域農産物の需要拡大、ブランド向上 ⑤ITなどの新技術を活用した生産や販売の実現 ⑥観光とのタイアップによる販路の拡大 ⑦海外への輸出による販路の拡大 |
|---|---|

【中小企業者】 代表者に○印

| | |
|---|--|
| ①名 称: 株式会社○○産業 ②住 所: ○○県○○市○○区○○*丁目** ③代表者名(役職): 代表取締役 事業 始 ④担当者(所属): 工場長 経済 太郎 ⑤連絡先(TEL): 0**(***)* (FAX): 0**(***)* (E-mail): keizai-t@○○sangyo.co.jp ⑥URL: http://www.○○sangyo.co.jp/ | ⑦資本金: 30,000 千円 (内大企業からの出資額: 0 千円) ⑧従業員数: 23 人(他にパート等 18 人) ⑨業 種: ソース製造業(0943) ⑩設 立: 平成 2 年 4 月 ⑪決 算 月: 3 月 |
| ⑫事業内容: ソース、たれ等の製造・販売 | |
| ⑬前期売上高: 230,000 千円 | |
| ⑭主な取扱(販売)商品等(売上構成): ソース 60%、焼きそばソース 30%、角煮のたれ 10% | |
| ⑮取引金融機関: ○×銀行△□支店 | |

【中小企業者】 代表者に○印

| | |
|--|--|
| ①名 称: 株式会社○○商事 ②住 所: ○○県○○市○○区○○*丁目** ③代表者名(役職): 代表取締役 計画 続 ④担当者(所属): 営業部長 経済 次郎 ⑤連絡先(TEL): 0**(***)* (FAX): 0**(***)* (E-mail): jiro_k@○○syouji.co.jp ⑥URL: http://www.○○syouji.co.jp/ | ⑦資本金: 30,000 千円 (内大企業からの出資額: 0 千円) ⑧従業員数: 11 人(他にパート等 10 人) ⑨業 種: 野菜卸売業(5213) ⑩設 立: 昭和 63 年 2 月 ⑪決 算 月: 1 月 |
| ⑫事業内容: 各種青果物の卸売及びネット販売 | |
| ⑬前期売上高: 410,000 千円 | |
| ⑭主な取扱(販売)商品等(売上構成): トマト 30%、レタス 20%、きゅうり 10%ほか | |
| ⑮取引金融機関: ※▲銀行●◎支店 | |

【農林漁業者】 代表者に○印

| | |
|--|--------------------------------------|
| ①名 称: 有限会社○○農園 | ⑦資本金: 4,000 千円 (内大企業からの出資額: 0 千円) |
| ②住 所: ○○県○○市○○区○○*丁目** | ⑧従業員数: 9 人(他にパート等 0 人) |
| ③代表者名(役職): 代表取締役 農林 育 | ⑨業 種: 野菜作農業(0113) |
| ④担当者(所属): 農林 太郎 | ⑩設 立: 昭和 55 年 1 月 |
| ⑤連絡先(TEL): 0**(***)* (FAX): 0**(***)* (E-mail): nourin-taro@11831.co.jp | ⑪決 算 月: 12 月 |
| ⑥URL: http://www.11831.co.jp/ | |
| ⑫事業内容: トマトをはじめとする、野菜、果物の栽培 | |
| ⑬前期売上高: 102,000 千円 | |
| ⑭主な取扱(販売)商品等(売上構成): トマト 60%、イチゴ 30%、メロン 10% | |
| ⑮取引金融機関: <input type="checkbox"/> 銀行本店、 <input checked="" type="checkbox"/> 信用組合本店 | |

【連携参加者】

| | |
|---|------------------------|
| ①名 称: ○○研究センター | ⑦資本金: 一 千円 |
| ②住 所: ○○県○○市○○区○○*丁目** | ⑧従業員数: 一 人(他にパート等 一 人) |
| ③代表者名(役職): 理事長 地域 太郎 | ⑨業 種: 都道府県機関(9811) |
| ④担当者(所属): ○○部 主任 支援 究 | ⑩設 立: 昭和 60 年 7 月 |
| ⑤連絡先(TEL): 0**(***)* (FAX): 0**(***)* (E-mail): shien19500130@aol.com | ⑪決 算 月: 一 月 |
| ⑥URL: http://www.shien19500130.go.jp/ | |
| ⑫事業内容: 青果物及び加工食品の成分、機能性等の分析 | |

| | |
|---------------------------------|-----|
| 農商工等連携事業を共同で実施する事業者間の規約や契約書等の有無 | 有・無 |
|---------------------------------|-----|

【法律に基づく事業認定の目的及びご希望支援策をお聞かせください。(複数可)】

| | |
|--------------------------|--------------------------------------|
| <input type="radio"/> | 補助金(試作、実験、研究会、マーケティング、市場調査等に係る経費) |
| <input type="radio"/> | 会社・事業PR |
| <input type="radio"/> | 融資(政府金融機関による融資制度、小規模企業等設備導入資金助成法の特例) |
| <input type="radio"/> | 融資(農業改良資金助成法、林業・木材産業改善資金助成法の特例) |
| <input type="checkbox"/> | 信用保証(中小企業信用保険法、食品流通構造改善促進法の特例) |
| <input type="checkbox"/> | 設備投資減税 |

【事業化ステージをお聞かせください。】

| | | | |
|------|----------------------------------|------|-------|
| 試作段階 | 商品化準備段階 | 試販段階 | 本格販売中 |
| | <input checked="" type="radio"/> | | |

※申請者等の数により欄を追加してください。

※商品等の説明用に写真や絵を貼っていただいても結構です。

※箇条書きや比較表等を用いるなどにより簡潔に記述してください。

1. 農商工連携によってどのような新商品／サービスを開発・生産(または提供)しますか？

生食用としては酸味が強すぎ、輸送で品質劣化してしまうイタリア原産種の系統である〇〇品種を栽培し、その〇〇新種の酸味の強さを活かした家庭調理用〇〇ピューレの開発、生産、販売を行う。

2. 申請各者の経営の現状を紹介してください。またどのような経営課題がありますか？

| | |
|--------------|---|
| <p>中小企業者</p> | <p>ソース等を製造して約一年の業歴を持つ(株)〇〇産業は、国産原料にこだわったソースづくりを一貫して行ってきたが、近年ではOEM(相手先ブランドで販売される製品を製造すること)が年商の約7割を占めており、差別化商品の自社ブランド販売を実現し、売上の拡大と収益性の改善が喫緊の課題。</p> <p>(株)〇〇商事は、〇〇県北部地域の青果卸売業として、平成元年からは消費者向けネット宅配事業を立ち上げ、〇〇県の減農薬野菜の販売を行い、現在では年間売上約2億円の業容に拡大しているが、ユーザーからは加工食品の取扱いに対する要望が年々強くなっており、加工食品への取り組みを検討しているところ。</p> |
| <p>農林漁業者</p> | <p>(有)〇〇農園は、県内でも有数の大規模〇〇生産者で、減農薬栽培を行っているが、ほぼ全量をスーパー等の量販店向けに栽培している。近年は〇〇の単価が低下傾向にあることから、多様な品種の栽培や加工向け販売チャネルの開拓による経営の安定化が必要。</p> |

3. 申請各者は、どのような経緯で連携されましたか？

〇〇が主催する勉強会や取引先の紹介。

4. 本事業のためにどのような経営資源を活用し、本事業において各事業者はどのような役割を担いますか？

また本事業において各者はどのような新たな取組み(工夫)を行いますか？

| | |
|--------------|---|
| <p>中小企業者</p> | <p>(株)〇〇産業 ソース等の製造にかかる設備、製造技術、食味の調整ノウハウを活用し、原料となる〇〇の特性を最大限に引き出した、高品質な〇〇ピューレの開発を担当する。</p> <p>(株)〇〇商事 消費者向けネット宅配事業により有する顧客消費動向のデータ(〇千世帯、うち月2回以上利用するリピート顧客〇千世帯)提供のほか、顧客に対する試作品のサンプル調査等を行う。また、商品開発後は路開拓を担当する。</p> |
| <p>農林漁業者</p> | <p>生産基盤たる農地、生産設備の提供とともに、長年の間に培われた〇〇の減農薬栽培技術、ノウハウを用い、施肥、水分調整によりこれまでにない小玉で濃厚な食味を引き出した〇〇を生産する。</p> |
| <p>連携参加者</p> | <p>かねてより実施してきた〇〇の多様な品種の栄養成分と機能性、食味の分析等の研究成果とともに、当該センターの研究施設を活用して、開発される〇〇ピューレの成分分析、食味分析を担当する。</p> |

5. どのような顧客を想定していますか？(市場ニーズ等の想定理由を含めて記載してください。)

1990年代の外出産業におけるイタリア料理ブームを経て、イタリア料理に対する嗜好が着実に浸透してきているなか、現在では近年の景気低迷による内食回帰の影響もあり、特に家庭調理用向け市場は堅調に拡大しており、なかでも安全性の面から国産原料へのニーズが強くなっている。

しかしながら、パスタソースについては本格的で簡便性の高い新商品が投入され、市場拡大を牽引してきた一方、〇〇ピューレについては、明確な差別化を打ち出した商品が出なかったこともあり、需要は拡大していないため、国産〇〇を使用した本格的〇〇ピューレに対する潜在的市場ニーズは十分であると予測される。

具体的な顧客としては、イタリア料理に対して本格嗜好が高く、可処分所得が高い20代後半～40代夫婦の家庭をメインターゲットとする。

6. 新商品／サービスはどのように開発しますか？

家庭調理用〇〇ピューレの開発については、(株)〇〇産業が中心となって実施するが、商品コンセプトから主原料となる〇〇の品質と生産方法が商品イメージを大きく左右するため、〇〇研究センターのサポートのうえ(有)〇〇農園が減農薬栽培を行うとともに、これまでと異なる施肥、水分調整による食味に注力した安定した原料供給を実施する。

また、(株)〇〇商事の顧客基盤を活用して調査を実施することにより、消費者ニーズを把握し、食味、安全性、パッケージデザイン、価格設定等の適正バランスを追求する。

7. 新商品／サービスはどのような販売チャネルを想定していますか？ またどのようなPRを行いますか？

㈱〇〇商事が有するネット宅配事業を活用し、全国の顧客に販売するとともに、㈱〇〇商事の取引先である〇〇県北部地域の高級スーパーマーケットにおいて販売する。また、大消費地であり、ターゲット顧客が多く存在する首都圏においては、主要な百貨店への販路開拓を行い、そこでの販売による知名度・信用度のアップなど、波及的な効果も図る。

商品ネーミングについては、顧客からの公募により選定するとともに、〇〇の育成状況等を(有)〇〇農園のホームページ上で公開するなど、「消費者と共同で創った商品」としてPRし、口コミによる需要の開拓を行う。

8. 新商品／サービスの開発・生産・供給はどのような体制で行いますか？

㈱〇〇産業によって生産した商品は、㈱〇〇商事の〇〇県北部地域の流通網を用いて高級スーパーマーケットへ供給する。また、首都圏への販路拡大については、㈱〇〇商事の既存ネット宅配事業の運搬業者によって、㈱〇〇産業から直接取引先へ納入する。

9. 新商品／サービスは類似・競合製品に対してどのような優位性・差別性がありますか？

家庭用〇〇ピューレ製品は、大手2社、中堅1社の計3社の製品が約9割の市場シェアを占めており、特に大手B社が製造する××シリーズの製品が5割を超えるシェアを有している。これら3社の主力商品は、輸入原料や国内の生産シェアの8割を占める△△品種を原料としており、消費者にとっては輸入原料と△△品種しか選択の余地がない状況にある。

当該事業によって開発しようとする商品は、原料となる〇〇品種の酸味が強く濃厚な食味であり、また原料については、指定農場で栽培するなど、既存商品とは差別化できる要素が明確でありながら、生産量も市場規模から見てもわずかなことから、ニッチ商品として十分販路開拓が可能である。

単価については、国産原料を使用している中堅C社の商品××と比して割高ではあるが、有機野菜、減農薬野菜については、多少割高であっても購入する消費者が多いと推察され、十分販売が可能な価格設定である。

10. 想定顧客・流通業者等関係機関等に対して市場調査を行いましたか？ またその結果はどうか？

㈱〇〇商事のリピーター顧客20名(20代後半～40代の主婦)に対して、試作品の試食及び聞き取り調査を行った結果、「美味しい」19名、「国産であり安心できる」17名、「価格は妥当である」14名、「販売されれば買いたい」15名という高い評価を受けている。酸味が強い点についても、「子供も喜んで食べていた」とされており問題はない。

ただし、色については、「やや黒く華やかさに欠ける」という意見が散見されたため、開発段階において改善することが課題である。

11. 本事業により、中小企業者の経営の向上及び農林漁業者の経営の改善をどのように図りますか？

| | |
|-------|--|
| 中小企業者 | 目標時における〇〇ピューレの生産・販売量は20トン／年(200ミリリットル瓶詰×10万本)であり、㈱〇〇産業は20,000千円の売上増(9%増)、㈱〇〇商事は10%の粗利を想定し、22,000千円の売上増(5%増)を目指す。 |
| 農林漁業者 | (有)〇〇農園は、当該商品向け原料として60トンの〇〇の生産が必要となり、これを販売することにより新たに7,700千円の売上増(9%増)が達成される見込みである。 |

12. 中小企業者の経営の向上及び農林漁業者の農林漁業経営の改善の目標

| | |
|--------|----------------------------|
| 計画実施期間 | 平成21年10月1日～平成26年3月31日(5年間) |
|--------|----------------------------|

【中小企業者】

(単位:千円、%)

| 区 分 | 名称(株式会社〇〇産業) | | 名称(株式会社〇〇商事) | |
|-----------------|------------------|-----------------|------------------|-----------------|
| | 直近期末 (21年3月期) | 5年後 (26年3月期) | 直近期末 (21年1月期) | 5年後 (26年1月期) |
| 農商工連携事業による売上高 | 0 | 20,000 | 0 | 22,000 |
| 既存事業の売上高 | 230,180 | 230,180 | 417,400 | 417,400 |
| 事業者全体の総売上高 | 230,180 | 250,180 | 417,400 | 439,400 |
| 事業者全体の総売上高の増加率 | — | 8.69 | — | 5.27 |
| 事業者全体の付加価値額の増加率 | — | 10.54 | — | 5.07 |
| 一人当たりの付加価値額の増加率 | — | 5.94 | — | 5.08 |

【農林漁業者】

| 区 分 | 名称(有限会社〇〇農園) | | 名称() | |
|------------------------------|-------------------|------------------|-----------------|---------------|
| | 直近期末 (20年12月期) | 5年後 (25年12月期) | 直近期末 (年 月期) | 年後 (年 月期) |
| 農商工連携事業に係る農林水産物の売上高 | 87,320 | 95,020 | | |
| 上記の内農商工連携事業で新たに取り組む農林水産物の売上高 | 0 | 7,700 | | |
| 既存事業の売上高 | 20,700 | 20,700 | | |
| 事業者全体の総売上高 | 108,020 | 115,720 | | |
| 農商工連携事業に係る農林水産物の売上高の増加率 | — | 8.82 | | |
| 事業者全体の付加価値額の増加率 | — | 7.10 | | |
| 一人当たりの付加価値額の増加率 | — | 7.08 | | |

13. 資金計画

| 項 目 | | 中小企業者 | 農林漁業者 |
|------------|--------|--|--|
| 設備投資の予定 | 投資予定 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 |
| | 主な投資内容 | ピュール製造設備増設 | 温室の増設 |
| | 投資予定金額 | 12,000 千円 | 5,000 千円 |
| 補助金活用予定 | 活用予定 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 | 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| | 主な活用内容 | 商品開発、販路開拓 | |
| | 補助金予定額 | 1,500 千円 | 千円 |
| 農業改良資金等の活用 | 活用予定 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 | 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 |

14. 本事業により、申請事業者及び当該地域等においてどのような効果が期待されますか？

| | |
|-------|--------------------------|
| 中小企業者 | 地域における新規雇用(5名程度)の期待。 |
| 農林漁業者 | 〇〇品種の認知度向上、減農薬農法の地域への波及。 |

～個人・企業情報の保護について～

中小企業基盤整備機構では、「個人情報保護法」に基づき、ご記入いただいた個人・企業情報について適切な管理に努めてまいります。従って、当該個人情報の第三者への提供または開示はいたしません。ただし、お客様の同意がある場合および法令等に基づき、要請された場合には当該個人情報を提供できるものとします。また、企業情報並びに、アドバイスにより知り得た機密事項についても同様に取り扱います。